

総務省・ITU災害通信シンポジウムの開催結果について

1. 概要

日時: 平成24年3月16日(金)、9:30~17:30

場所: 宮城県仙台市(仙台国際センター)

主催: 総務省と国際電気通信連合(ITU)の共催(後援: 宮城県、仙台市、東北情報通信懇談会、ASEAN)

目的: 東日本大震災や復興の過程で得た情報通信分野の知見、教訓の海外参加者との共有



2. 結果

○アジア・アフリカ地域など50カ国からの参加者(海外の通信主管庁、電気通信・放送事業者等)約100名を含め、約150人が参加。

○松崎総務副大臣、横田情報通信国際戦略局次長、サヌITU電気通信開発局長及び伊藤仙台市副市長が参加し、挨拶。

○地方公共団体・情報通信関係事業者・学識経験者11名により、震災への対応、復旧、復興を中心としたプレゼンテーションを実施。

○総務省の支援により制作された復興をテーマとした映像(震災復興シリーズ「FORWARD」)を上映するとともに、被災・復興状況のパネル展示を実施。

○東北大学(電気通信研究所)、NTT東日本、仙台港の視察を実施(3月17日(土))。

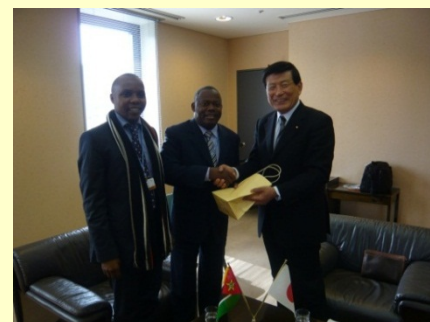
3. その他

○松崎総務副大臣が、サヌITU電気通信開発局長との間で意見交換を実施し、下記事項等を確認。

- ・地デジ移行に関する各種活動への国際協力の重要性。
- ・APT(山田事務局長)とITUとの連携の推進。
- ・ITUへの日本人職員の後任の派遣。

○松崎総務副大臣が、モザンビーク・サイーデ運輸通信副大臣との間で意見交換を実施し、モザンビークにおける地デジの方式検討状況等を確認。

○シンポジウムと前後する形で、ITU-D(電気通信開発局)研究委員会の「災害通信」、「ルーラル・遠隔地域の通信」、「ブロードバンド通信」、「地デジへの移行」に関する4つの会合を仙台及び東京で開催(3月15日(木)及び19日(月)~21日(水))。21日には、森田政務官主催によるレセプションを開催。



モザンビーク・サイーデ運輸
通信副大臣との会談模様



21日のレセプションにおける
森田政務官